

## 多度地区小中一貫校整備事業 第11回開校準備委員会 会議概要

開催日時 令和5年11月19日(日) 10:00~11:30

出席委員 25名中 18名

### 1. 開会

#### (1) 経過報告

- ・地域連携部会より経過報告
- ・教育指導部会より経過報告

### 2. 議事

#### (1) 多度学園校歌 歌詞作成について

委員長：10月の27日に行われた企画会議では、超校歌プロジェクトのみなさんとオンラインで繋いでいただき、私も校歌の原案作成に参加させていただいた。今日は原案をもとに、地域の皆さん、または子どもたちの思いが入った歌詞を選んでいきたい。まず初めに、ベースとなる歌詞案の選定について、事務局から説明をお願いしたい。

事務局：(説明)

委員長：それではグループの中で、歌詞の原案の感想などを意見交換し、投票は各自でご判断いただくということをお願いしたい。欠席委員のうち、お二人の票をすでにいただいているが、この方の投票も入れてよろしいか。

委員：(はい、の声)

委員長：それでは話し合いをスタートしていただきたい。

(約10分間 各グループで話し合いと個人投票)

(事務局で開票)

委員長：開票結果を、今私も確認させていただいた。事務局から説明していただく。

事務局：結果を発表する。得票数により、ベースとなる歌詞案は第E案となった。

委員長：各案の票数はいかがか。

事務局：A案は1票、B案は7票、C案とD案は0票、E案は12票である。

委員長：では、E案をベースに、これからブラッシュアップを加えていきたい。ここはこうした方がいいというような意見をいただき、それを見ながら徐々にブラッシュアップの方向を見定めたい。少し時間をとるので、グループで意見交換していただきたい。

(約5分間 グループで意見交換)

委員長：では、1番から順に聞いていく。まず1番について、Aグループはいかがか。

委員：「清きを極め」というフレーズが、「き」が多く、「極め」という言葉がやや難しい。

委員長：1番について、他に意見はあるか。

委員：「架け橋に」につながる言葉が、1番「未来を創る」、2番「明日をつなぐ」、3番「世界に広がる」となっているが、1番の「未来」は時間的に遠い先を指す一方、2番の「明日」は近い先を指し、3番の「世界」は広さを感じさせる。代案はないが、例えば1番の「未来」を、

別の言葉に置き換えてもいいのではないか。

委員長：「未来」と「明日」がかぶっている印象であり、「世界」は空間的になる。

委員：「未来」という言葉は、3番の別のフレーズにも出てくる。そのため、1番の「未来」が別の言葉になればいいのではないかと考えた。

また、「多度の流れ」という言葉について、例えば「揖斐長良」などの方が、より具体になるのではないかという意見もあったが、多度川や肱江川もあるので、それらも含めてあえて「多度の流れ」と表現すると考え、これでいいのではないかという結論に落ち着いた。

委員長：1番について、Bグループはいかがか。

委員：「極め」が気になった。

委員長：Cグループはいかがか。

委員：Cグループでも、「清きを極め」が固い印象になる、という意見が出た。代案として、1行目の「清き」と、2行目にある「澄んだ」を入れ替えて、「清きを極め」を「澄み渡り」に変更、「澄んだ心」を「清き心」に変更とするという意見も出た。

2番3番についての意見になるが、「清きを極め」の7文字にこだわらないならば、2番の「抱かれし庭」を「抱かれて」にできるだろうし、3番の「果てなく続く」を「果てしなく」にしてはどうかという意見も出た。

委員：「清きを極め」を「清らかに」とし、2番は「抱かれし」、3番は「果てしなく」とすると、次のシーンに「清らかに澄んだ」、「抱かれて学びの」、「果てしなく高まる」という風に繋がりがやすい。5文字にすると、綺麗に繋がっていくように感じる。

2番の別の部分になるが、「学びの坂を かけあがり」という表現について、身体的にかけ上がれない場合もあると思うので、例えば「進みつつ」「見上げつつ」などはどうか。

「意思を 敬って」という表現について、「敬う」という言葉が上下関係をイメージさせるため、「大切にする」「思いやり」などのほうが、お互い対等に大事にしているというイメージが伝わりやすいと感じる。

先ほど出ていた「未来」と「明日」について、やはり似た表現であると思うので、例えばこれを「幸せ」という言葉に置き換えてはどうか。

委員長：2番の方までご意見いただいた。他のグループは、2番、3番に対していかがか。

委員：2番の「抱かれし庭」が気になっていた。1番の「清きを極め」も気になる。先ほどのご意見のように、「清らかに」「抱かれて」「果てしなく」の方がわかりやすいと感じた。

「かけ上がり」について変更案が出ていたが、私はすごく気に入っている。実際、多度学園の校舎には「学びの坂」がある。また、多度の「上げ馬」を兼ねている印象で、すごくいいと思う。

委員長：こちらのグループで2番、3番についていかがか。

委員：七五七五調にすると、すっきりし、いい印象を受ける。

委員長：他はよろしいか。全体を通じて、追加の意見はいかがか。

委員：(意見なし)

委員長：では、1番の1行目は、2番、3番の1行目とも合わせて「清きを極め」を「清らかに」に。

2番の1行目は「抱かれし庭」を「抱かれて」に。3番の1行目は「果てしなく続く」を「果てしなく」に。

そして1番の2行目の「未来」を「幸せ」に。

2番の2行目の「かけ上がり」か「進みつつ」かは、意見が分かれたが、いかがか。

委員：(発言なし)

委員長：「かけ上がり」については、いったん保留にする。

「敬って」のところは、「思いやり」などと置き換えるという案が出たがいかがか。

委員：(発言なし)

委員長：歌詞の全体をいま一度みていただき、保留になっている2か所についていかがか。

委員：「互いの意思を敬って」の「意思」を「想い」に置き換えるという案も出た。

委員長：「想い」にした場合、それに続く言葉をどうするか。「互いの想いを大切に」とするか。

委員：「大切に」は、歌詞としては、そぐわないような気がする。伝えたい意味はよくわかるが、あまりにも平易すぎる、日常の会話という印象を受ける。

委員長：「想いを敬って」とまた元に戻すか。どなたか案をいただきたい。

委員：「尊ぶ」という言葉がある。難しいかもしれないが、7・5調に合せると、「尊んで」はどうか。やや古い印象になるかもしれないが、歌詞としては「尊びて」のほうがいいかもしれない。

委員長：「思いを尊びて」を候補とする。

「学びの坂」についての部分はいかがか。

委員：「想い」は、その漢字で表記するのか。いろいろあるが、平仮名でいいと思う。

委員長：「想い」の表記はいかがか。

委員：「おもい」は平仮名でもいいと思う。

委員長：では、「互いのおもいを尊びて」とする。「学びの坂」の部分はいかがか。

委員：(発言なし)

委員長：「学びの坂」の部分については、いったん保留とし、持ち帰る。

およそ固まった部分も、メロディをつけるときに微調整が入る場合もあるため、ご了承いただきたい。

事務局：保留になった部分について、いくつか代案が出ていたが、各委員がどれが好みであるかを聞きたい。

委員：現段階で出ている代案は、動作を表す表現だが、「学びの坂」が構内の場所を示す語であるため、そこにみんなが集まるようなイメージの言葉でもいいと思う。

委員長：どのような言葉がいいか。

委員：いい言葉が浮かばない。

事務局：「集う」とか。

委員長：「集う」とか、「集いつつ」とか。

委員：動きというより、そこにいる人たちがいて、1行目は「抱かれる」となっている。2行目にも、落ち着いた動作の別のイメージがあるといいのではないかと思う。

委員長：「輪になって」もある。

では、いくつか出た案の中から、各自が良さそうだと感じたものに挙手いただきたい。

(委員長が候補となるワードを読み上げ、委員が挙手にて意思表示。)

委員長：では、「かけあがり」と「集いつつ」の意向が多く、同数程度であった。

事務局：はい。ありがとうございます。

委員長：今保留になっている2番の2行目の決定や、メロディをつけるときの微調整は、少しこちら

で預からせていただき、委員長に一任していただけるか。超校歌プロジェクトと事務局とやり取りして協議したいと思うので、よろしくお願ひしたい。

また、漢字の読み方を、ユニークな読み方にご希望されている方もいらっしゃるかもしれないが、いかがか。読み方にこだわりたいところはあるか。

事務局：では一度読ませていただく。ちなみに3行目の「誓う」は「ちかう」でよろしいか。

事務局：(歌詞を音読する)

事務局：応募の中には、「希望」と書いて「ひかり」と読ませたいとか、「未来」と書いて「あした」と読ませたいという方もいらっしゃった。今の皆さまのお話を聞いていると、普通の読み方でいいのかなと感じている。「明日」は、「あす」か「あした」かを、確認したい。

委員：「あした」のほうがいい。

事務局：では「あした」で進めさせていただきます。

委員長：はい。それでは、一部保留があるが、歌詞(案)は、このように進めさせていただきます。

## (2) メロディ作成について

委員長：曲想について、事務局から提案がある。

事務局：(提案)

委員長：それではグループ内で協議をしていただきたい。

(約5分 グループ協議)

委員長：全体交流を行う。Aグループからお願いしたい。

委員：歌詞に合うのは、あまりテンポが速くないイメージという意見がでた。また、多度中学校の校歌がいいという話があったので、それもひとつの曲想イメージとしてはどうかと思った。

委員長：多度中の校歌のイメージを少し具体的に教えていただきたい。

委員：(数名が口ずさむ)

委員長：テンポは「ゆったりと」という感じか。

委員長：Bグループはいかがか。

委員：応募にあった「テンポよく、覚えやすく元気になるような」というのがいいのではないかという意見が出た。

委員長：Cグループはいかがか。

委員：資料5を参照し、応募が多いものを元に考えた。歌詞(案)の歌い出しが、自然に抱かれた感じであるので、「ゆったりと」という意見もあったが、多度中学校の校歌も同様に自然に抱かれた感じでありながら、テンポがよい。「明るい、楽しい、元気、ゆったり」の曲想イメージは、応募数も多いため、これらを超校歌プロジェクトに依頼すれば、それなりの仕上がりが期待できるのではないか。

委員長：「ゆったりと」と「テンポよく覚えやすい」は相反するイメージとを感じるが、可能ならば聞き比べてみたい。もう一つ具体的なのが、「多度中学校の校歌のように」という曲想。大きく3つくらいのイメージが出された。この3つをもとに、プロジェクトと相談したい。

事務局：はい。

委員：例えば、前奏や間奏などを含めて○分以内などという条件付けしなくてもよいか。

委員長：どれくらいの長さが適切なのか。

事務局：一般に3番までの校歌が多く、多度学園の歌詞（案）も一般的な長さである。儀式では、3番まで歌われるということが主流だと思うが、行事などにおいては、例えば1番だけ歌うなどの方法を取り、時間的な調整はある程度可能である。委員会として、時間制限を設けたいということであれば、そのように伝えるし、一般的な流れで良いのであれば、そのように伝える。いかがか。

委員：歌詞一般的な長さだから、メロディをつけてもそんな長くないだろう。

事務局：特に時間制限は設けず、まずは原案を聴かせていただくという方向で進めてよろしいか。

委員：（異議なし）

事務局：ありがとうございました。

委員長：最終的に何案のメロディになるかはわからないが、委員会としては3つくらいの曲想で依頼したい。

### （3）その他

委員長：今後のスケジュールについて、事務局から説明がある。

事務局：（説明）

委員長：では、次回の日程は未定ということで、場所等についても別途連絡いただく。

## 3. 閉会

（以上）